

# 第3回 JICC 産業洗浄 商流セミナー

～ 商社・販売店の皆様へ有用情報を伝える ～

開催日時：2016年10月19日（水） 15:00～17:00（受付開始14:30）

会場：東京ビッグサイト（東ホール）「2016 洗浄総合展」内 ワークショップ会場

定員：100名、事前登録制（申込み順、定員になり次第締め切ります）

対象：洗浄剤・洗浄機・関連機器を販売されている商社・販売店の方々

主催：JICC 日本産業洗浄協議会 TEL：03-5777-0791

内容：洗浄は製品の品質・性能を決定づける重要工程です。一方、その技術や環境規制等は日々深化しています。あらゆる業種、事業規模にまたがる洗浄ユーザーに、それら情報をいち早く適切に伝える、そのような機能を商流の方々に期待いたします。

参加費（資料代）：1,000円/人（当日受付時にお支払いください。領収書をお渡します）

※参加者には事前に、①「2016 洗浄総合展」のVIP招待券（当日の受付不要）②リスクアセスメントのパンフ③「中小企業等強化法 装置・機械の固定資産税軽減」パンフをお送りいたします。

## プログラム

15:00～15:05	開会挨拶：北島 晃（JICC 副会長、㈱トクヤマ）
15:05～15:35	「産業洗浄 優秀新製品賞 2016」表彰式：岡村和彦（JICC 会長、㈱クリンビー） 受賞製品概説：山内 辰也（JICC 洗浄技術委員会 委員長 JX エネルギー㈱）
15:35～16:25	ものづくり工程における洗浄の実際 ～分野・工程ごとの要求特性などを詳説～ 【精密機器、ハードディスク、LED、カメラモジュール、半導体など】 講師：前野 純一（JICC 事業推進委員長、荒川化学工業㈱）
16:40～16:50	「洗浄技術検定（経済産業省後援）」について：築瀬 互一（JICC 検定委員長、旭硝子㈱）
16:50～17:00	「優秀新製品賞」受賞各社との名刺交換会

◆申込み先：JICC 日本産業洗浄協議会 [E-mail [sskjicc@jicc.org](mailto:sskjicc@jicc.org)]

FAX：03-5777-0675

JICC 産業洗浄 商流セミナー 申込書		開催年月日	
		2016年10月19日（水）	
会社名		JICC 日本産業洗浄協議会の会員ですか (○を付けて下さい) ・会員 ・非会員	
所在地	〒	TEL :	( )
		FAX :	( )
フリガナ		部署名	E-mail :
参加者① (代表連絡者)			
フリガナ		部署名	
参加者②			

主催：日本産業洗浄協議会 日刊工業新聞社

詳細は裏面をお読みください

## 産業洗浄優秀新製品賞2016 一覧表

No	受賞会社名	受賞製品	受賞製品の要点
1	森合精機株式会社	揺動チャンバー洗浄機	洗浄チャンバーを揺動する事で洗浄・乾燥の効率アップ(3次元化)を実現した、新洗浄装置
2	日理工業株式会社	高感度清浄度評価装置	洗浄物に残留した微量な油分を高精度で抽出・分析する 高精密測定装置
3	ウィルビー株式会社	洗浄関連装置	減圧洗浄技術を応用した抽出・分析装置
4	アクトファイブ株式会社	油分濃度計測システム AIS-ROM1	インラインで洗浄液中の微量な油分を計測する高精度油分分析装置
5	ファインマシナカオカ株式会社	3D カプセル洗浄機＋ クロスポインター	カプセル型洗浄装置に新機構を持たせ、併せてノズルとワークを 3次元対比させた新機能洗浄装置
6	株式会社パーカーコーポレーション	Parkem FFS シリーズ	低温領域でも十分な洗浄性能が得られ、ノンリンス洗浄にも対応した 新洗浄剤
7	日華化学株式会社	ニッカクリヤー SP-4500	低温領域でも十分な洗浄性能が得られ、ノンリンス洗浄機能を持たせた 新洗浄剤

.....

### 「ものづくり工程における洗浄の実際」

～分野・工程ごとの要求特性などを詳説～

【精密機器、ハードディスク、LED、カメラモジュール、半導体など】

1. 技術革新による「ものづくり行程」の変化と今後求められる洗浄技術とは？  
IoTの普及による莫大な情報量の伝達と取捨選択を行うために新たな半導体の開発が進んでいる。伝達手段が高周波から光伝達への変化に伴い製造工程はもちろん材料・部材も変化してくる。これらの技術革新に伴い、今後必要とされる洗浄技術について紹介する。
  - ① ナノテクノロジー
  - ② 情報通信
  - ③ ライフサイエンス
  - ④ エネルギー・資源・環境
  - ⑤ 材料・部材
  - ⑥ 共通基盤
  
2. サイレントチェンジによる洗浄トラブル（忍び寄る危険性）  
RoHS 指令、REACH 規則、VOC 排出抑制、特化則などの規制が続々と広がりつつある。ものづくりのおよそ最終工程である洗浄工程では、切削、プレス、研磨、接合、表面処理（塗装、めっき、防錆処理など）などの前工程に使用されている材料や処理剤、添加剤がこれらの規制で知らない間に変わっているケースが多くあり、過去に鉛フリー規制により長期にわたり産業界が製品トラブル対応に明け暮れた苦い実績がある。特に最終段階の洗浄工程で、問題点が明らかになるケースが多く、責任を押し付けられて苦い経験をされた方も多いと思われる。現在進行中のサイレントチェンジの事例を紹介し、対策に備えて頂きたい。
  - ① BTX 規制
  - ② 可塑剤「フタル酸エステル」の規制
  - ③ アミン系化合物の規制
  - ④ その他の規制の可能性